



■はじめに

ぎふ清流GAP評価制度の評価基準に係る評価ポイントの理解を促進するため、飛騨、可茂、下呂の各農林事務所主催、ぎふ清流GAP推進センター共催により、実際に GAP に取り組まれている生産者の農場をモデルとしてお借りして現地研修会を開催しました。

現地研修会の会場を提供いただいた生産者の皆様、主催いただいた各農林事務所の皆様、また参加いただいた皆様に感謝を申し上げます。

多くの方々に参加いただき、GAP の取り組みへの関心の深さを実感しました。

■現地研修会開催結果報告

農林事務所	期 日	モデル農場	品 目	参加人数
飛騨	5月22日	合同会社つむぎ農園	もも	18人
可茂	6月23日	有限会社春見ライス	米	41人
下呂	6月26日	合資会社源丸屋ファーム	米	19人

○研修内容

- 1 モデル農場による GAP の取り組み状況などの事例紹介
- 2 ギブ清流GAP推進センター農場評価員による解説
 - ① 前回の評価で指摘のあった評価項目
 - ② 評価規準 2023 で新たに追加された評価項目、特に留意が必要な項目
- 3 質疑応答

◎飛騨会場

1 GAPに取り組んだきっかけや成果、課題

- ・家族経営から、雇用主体の経営に移行し、従業員が安全かつ健康に働けるようリスクを管理、従業員全員で情報共有した。
- ・ぎふ県 GAP から取り組みを開始しており、GAPを継続することで安全で環境に配慮した甘いももを、地元企業とコラボするなど、新商品開発を志向している。



農薬廃棄場所の説明の様子

2 前回の評価で指摘のあった項目と改善事項、現場における注意点、質問等

- ・項目番号「作 3.2.8」：廃棄場所に立ち入り禁止等表示がされていなかったが、分かりやすいようロープを設置、立ち入り禁止の掲示を実施。
- ・項目番号「全 4.4.2」：燃料貯蔵場所周辺に段ボールが置かれていた。燃えやすいものを取り除くことをアドバイスした。

◎可茂会場

- 1 GAPに取り組んだきっかけや成果、課題
 - ・作業時に、機材の落下による怪我が発生。
二度と再発しないよう、法令を遵守したルールに改善し安全確保した。
 - ・栽培管理、収穫等作業の記録を習慣化し、問題が発生した時の原因解明、再発防止策に役立てている。
- 2 前回の評価で指摘のあった項目と改善事項、現場における注意点、質問等
 - ・項目番号「全 6.11」：フォークリフトのナンバーが取得されていなかったが、指摘を受けて取得した。



フォークリフトのナンバー設置の様子

◎下呂会場

- 1 GAPに取り組んだきっかけや成果、課題
 - ・従業員の離職率が非常に高く問題であったが、今では離職する従業員がいなくなった。
 - ・労務管理の改善(働き方改革)を重点に取り組んだ。
 - ① 人事評価システムを導入し人物評価と能力評価を実施、給料に反映した。
 - ② 給与の等級表を作り、従業員が将来設計できるよう配慮した。
 - ③ 年間の業務カレンダーを作成し、休日取得100日以上を目標にした。
- 2 前回の評価で指摘のあった項目と改善事項、現場における注意点、質問等
 - ・項目番号「作 3.2.5」：農薬使用履歴の記録に⑩農薬使用時の天候(特に、風などドリフトに関係する情報)の記載がなかったが、KSASを利用した管理で①～⑩すべて項目内容を網羅し、スマートフォンを使用し効率的に記録・管理されている。



「働き方改革」について取り組みを紹介

■現地研修会のご案内

- ・今回ご紹介した3会場と同様の現地研修会が揖斐農林事務所管内で予定されています。参加の申し込み及び詳細は揖斐農林事務所農業普及課にお問い合わせください。

日 時	場 所	モデル農場	品 目
8月5日 13:00~14:50	JA いび川大野営農経済センター	大野町かき振興会 加納 智氏	柿

■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 [ぎふ清流GAP](#) (岐阜県公式ホームページ)
制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介

■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 [ぎふ清流GAP推進センター](#)
電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 Eメール:gifu-gap@gifu-notiku.com

